

内視鏡室

1. スタッフ構成

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)
専門分野:消化管
- 平岡 淳(消化器内科主任部長、消化器病センター副センター長)
専門分野:肝臓
- 壺内 栄治(消化器内科部長)
専門分野:消化管
- 宮田 英樹(消化器内科部長、内視鏡室長)
専門分野:胆・膵
- 多田 藤政(消化器内科部長)
専門分野:肝臓
- 黒田 太良(消化器内科部長)
専門分野:胆・膵
- 川村 智恵(消化器内科部長)
専門分野:消化管
- 兼光 梢(消化器内科医長)
専門分野:胆・膵
- 北畑 翔吾(消化器内科医長、IBD センター長)
専門分野:消化管
- 泉本 裕文(消化器内科医長)
専門分野:消化管
- 大西 慶(消化器内科医長、地域医療キャリア形成支援センター兼務)
専門分野:消化器全般
- 村上 大晟(消化器内科医長、地域医療キャリア形成支援センター兼務)
専門分野:消化器全般
- 實藤 洋伸(消化器内科副医長)
専門分野:消化器全般
- 柳原 映美(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 中谷 康輔(専攻医)
専門分野:消化器全般
- 福本 真惟(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 松岡 海南(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 松田 拓也(内科専門研修プログラム専攻医)
専門分野:消化器全般
- 山本 佳世(看護長)
- 看護師:15名

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医	二宮朋之、平岡淳、壺内栄治、宮田英樹、多田藤政、黒田太良、川村智恵、兼光梢、北畑翔吾、大西慶
日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医	泉本裕文
日本消化器内視鏡学会大腸内視鏡スクリーニング認定医	泉本裕文

3. 運営方針

正確な内視鏡診断を行い、最新で高度な内視鏡治療を安全に行うことを診療方針として、

- (1) 鎮静の導入による苦痛の少ない安全な上部・下部消化管内視鏡検査
- (2) 消化管領域(食道・胃・小腸・大腸)に対する緊急止血術
- (3) 内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術による早期消化管癌の治療
- (4) 胆膵領域や消化管領域の超音波内視鏡を用いたの精査
- (5) 肝胆膵領域における閉塞性黄疸に対する緊急処置
- (6) 胆膵系悪性腫瘍に対するチューブおよびメタリックステント留置
- (7) 呼吸器領域の超音波内視鏡、極細径気管支鏡、局麻下胸腔鏡、硬性鏡での診断と治療
- (8) 新規薬の採用による大腸内視鏡の前処置の負担軽減等を積極的に行っています。

4. 実績

2013年に新病院に移転したことにより、上下部消化管内視鏡室4室に加え、透視併用の内視鏡室2室、緊急内視鏡用検査室1室が設置され、緊急内視鏡検査も受け入れやすくなっています。また、超音波内視鏡装置が最新の機器に更新され、診断能力の向上につながっています。長年の懸案事項でした大腸内視鏡検査の前処置についても前処置室を設け、トイレも7室に増設されたことで、検査前の不安が軽減されました。

かつ、最近では自宅での前処置を行うことによって、検査の停滞を予防しています。そのため、年々、内視鏡検査数も増加傾向にあります。2020年度はコロナ禍の中にあり、不要不急の検査を制限しながら対策も立て、安全に行うことができました。

2021年からは新規にスパイグラス(経口胆道鏡)を導入し、今まで碎石困難であった巨大結石等も内視鏡的に碎石可能となりました。さらには胆道癌には直視下正生検を行うことで、正確な進展度診断が可能となりました。

外科、病理の医師と共に、合同症例カンファレンスを行うことによって、術前診断さらには術式の適正化などを術後病理と照らし合わせることで振り返っています。さらに今後の症例に対しての診療方針等についての検討を行っています。また、専攻医や研修医に対する教育にも力を入れています。

■ 内視鏡検査件数

- ・ 上部内視鏡:5,366件
- ・ 下部内視鏡:2,584件
- ・ ERCP:794件
- ・ 小腸内視鏡:18件
- ・ カプセル内視鏡:35件
- ・ 気管支鏡:416件

検査項目	件数
食道スコープ	398
EIS	1
EVL	24
EISL	14
APC	1
食道拡張術	21
バイオプシー(人数)	278
止血術	6
メタリックステント挿入	19
EMR	0
異物除去	13
EUS	0
ESD	20
胃・十二指腸スコープ	4,968
EMR	11
バイオプシー(人数)	1,127
ヘリコチェック	272
止血術 全体	51
異物除去	7
EUS	272
PEG	17
PEG 交換(内視鏡使用)	33
幽門拡張術	5
ESD	125
メタリックステント挿入	3
イレウス管挿入	45
イレウス管造影	38
大腸スコープ	2,584
バイオプシー(人数)	1,469
止血術 全体	31
EMR	791
EUS	6
ESD	68
メタリックステント挿入	34
イレウス管挿入	6

ERCP	794
EPBD	112
ERBD	337
ENBD	16
メタリックステント挿入	51
EST	166
IDUS	37
EST 採石	74
小腸内視鏡	18
小腸内視鏡(経口)	13
小腸内視鏡(経肛門)	5
カプセル内視鏡	35
気管支スコープ	416
TBB	174
TBLB	55
擦過・洗浄	414
異物除去	4
BAL	72
トイレット	2
EBUS	226
合計	9,213

5. 2023 年度目標

昨年度を上回る検査件数の実施に加えて、安全な内視鏡検査および処置のために事故の防止、削減に努力していきます。

愛媛県全域での困難症例をできる限りカバーできるように努力していきます。

6. 学術関係

消化器内科の項参照。